



令和5年八代市

# 二十歳の集い

- ① 式典の様子
- ② 八代市二十歳の集い実行委員会の皆さん
- ③・⑤・⑥・⑦・⑩・⑪ 久しぶりに再会した同級生と記念撮影
- ④ 振袖姿で「はい、ポーズ」
- ⑧ 抽選が当たり大喜び
- ⑨ 抽選に当たるように祈る
- ⑫ 再会のうれしさに手をつなぐ



令和5年八代市二十歳の集いが1月8日に八代トヨオカ地建アリーナで行われ、二十歳を迎える1057人(男503人、女554人)の新たな門出を祝いました。今年、成年年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、名称を「成人式」から「二十歳の集い」に変更し行われました。

式典には522人が参加し、中村博生市長は「学ぶ心を常に忘れず、さまざまな経験を重ね、力強さと優しさを育みながら、これからの人生を切り開いてください」と祝辞を述べました。

式典終了後には、人生の節目を迎えた思いや人生の抱負を主張する「二十歳の主張」や旅行券などが当たる抽選会が行われました。



子どもたちをいっぱい笑顔にできる立派な保育士になりたい

森本 亜弥華さん  
(日奈久中出身)



介護職に就いて、人の役に立ちたい

坂本 大地さん  
(第二中出身)



彼女を一生幸せにします

松永 拳嗣さん  
(第三中出身)



笑顔で楽しく毎日過ごしたい

本村ひとみさん  
(第七中出身)

## 二十歳の抱負を一言

本田りくとは夢があります。鹿兒島大学を卒業後は農業を武器に、第1の故郷「八代市日奈久」と第2の故郷「鹿児島」をつなぐ架け橋になろうと思っています。農業を既存の生業ではない新しい農業の形として盛り上げていきます。



本田りくとさん  
(日奈久中出身)

## 二十歳の主張

無事に二十歳のこの日を迎えられたのも、地域の方々や先生方、たくさんの方々の愛情を注いでくれた家族のおかげであると、感謝の気持ちでいっぱいです。春からは保育士として働くことが決まっていますので、保護者の方からも信頼される先生を目指して努力します。



鍛島 朱璃さん  
(第六中出身)

## 二十歳代表挨拶